

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2002-90424 (P2002-90424A)
 【公開日】平成 14 年 3 月 27 日 (2002.3.27)
 【出願番号】特願 2000-280270 (P2000-280270)

【国際特許分類】

G 0 1 R 31/28 (2006.01)
G 0 1 R 31/02 (2006.01)
G 0 2 F 1/13 (2006.01)
G 0 2 F 1/1345 (2006.01)
G 0 9 F 9/00 (2006.01)
G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 31/28 V
 G 0 1 R 31/02
 G 0 2 F 1/13 1 0 1
 G 0 2 F 1/1345
 G 0 9 F 9/00 3 5 2
 G 0 9 F 9/30 3 3 0 Z
 G 0 9 F 9/30 3 3 8

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 28 日 (2007.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記信号線が引き出された側、または前記走査線が引き出された側において、前記接続パッドが複数個ずつまとめられて複数の接続パッド群をなし、前記複数本の検査用配線がこれら接続パッド群ごとに設けられることを特徴とする請求項 1 記載のマトリクスアレイ基板。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

前記検査用配線が、前記信号線が引き出された側、及び、前記走査線が引き出された側の両方に設けられ、前記信号線及び前記走査線が、いずれも、隣り合うもの同士で相異なる前記検査用配線に接続されることを特徴とする請求項 1 記載のマトリクスアレイ基板。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

内側及び外側の検査用配線 3 1 -1, -2は、両端が接続配線 3 3 を介して、内側及び外側のダミーパッド 3 2 -1, -2にそれぞれ接続している。すなわち、内側のダミーパッド 3 2 -1は、内側の検査用配線 3 1 -1を介して、信号線パッド群 6 5 内の奇数番目の各信号線パッド 6 4 -1, -3, ・ ・ と接続しており、外側のダミーパッド 3 2 -2は、内側の検査用配線 3 1 -2を介して、信号線パッド群 6 5 内の奇数番目の各信号線パッド 6 4 -2, -4, ・ ・ と接続している。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

また、上記実施例においては、検査用配線 3 1 , 3 5 がスクライブ等のガラス基板の分断により除去されるものとして説明したが、検査後に、砥石やレーザーで除去されるものであっても良い。